

9月8日

## おとめ聖マリヤの誕生日

### Birth of the Virgin Mary



The Birth  
of the Virgin Mary  
by  
Esteban Murillo

パリ、ルーヴル美術館

マリアの誕生については、聖書に何も書かれておらず、その両親の名前さえも聖書からは分からない。二世紀に書かれた「ヤコブの原福音書」によれば、両親の名はヨアキムとアンナとなっている。(7月26日はおとめ聖マリヤの母アンナの日として小祝日と定められている。)

歴史上、マリアを祝った最初の祝日は、聖母の被昇天であったが、まもなく、東方教会でマリアの誕生も祝われるようになった。その由来は、5世紀のエルサレムでの聖アンナ教会献堂祝日であるとされる。聖アンナ教会は、マリア誕生の家があったとされている。

ローマでは、「聖マリアの誕生」祝日は、7世紀になって初めて証明される。聖母被昇天の祝日と同様、教皇セルギウス1世(在位687-701)は祝日を行進行列でもって特徴づけた。

ローマカトリック教会で祝われるマリアの誕生の祝日は、固有の叙唱を持つ。「あなたはマリアをすべての人類から選び、女性すべての前で祝福されました。マリアによって救いの夜明けが始まり、あなたは義の太陽であるキリストを、マリアはわたしたちのために誕生させました」。

この祝日は、長い間準備されていた救いの約束が、その実現に近づいたことを祝うことを意味し、マリアの誕生は、義の太陽であるキリストの曙であることを確認する。(M)

#### <特祷>

主よ、あなたはおとめマリヤによってみ子の受肉を成就し、救いのみ業を始められました。どうかおとめマリヤの誕生を祝うわたしたちの心に、天の恵みを豊かに注ぎ、あなたの平和を増し加えて下さい。み子イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン